

車中泊避難所設置・運営ワーク様式集

ワークシート1. 車中泊駐車場の候補地選定

施設見取り図(A3)

駐車場見取り図(A1)

ワーク 2-1 車中泊避難所エリアカード

ワーク 2-2 車中泊避難希望者 状況シート

ワーク 3-1:車中泊避難所対応事例表(A3)

ワーク 3-2 車中泊避難所支援検討(A3)

ワーク 3-3 車中泊避難所支援の感想(A3)

ワーク 3-1:車中泊避難所対応事例表(ヒント集)

ワーク 3-2 車中泊避難支援検討(ヒント集)

※ヒント集はワーク終了後に配布

ワークシート1. 車中泊避難所の候補地選定

あなたの町で車中泊避難所になりそうな場所を話し合って、記入してください。

候補地選びなのでより多くの数を出すようにしてください。

1) 必須条件

- ・トイレ(緊急時 50 人に 1 基、通常時 20 人に 1 基が目安。仮設トイレの設置も検討)
- ・洗面(水道)、排水溝

2) 候補地の状況

- ・隣接状況: 体育館等、指定避難所の駐車場は○、駐車場のみの独立型は×。
- ・水はけの状況を(コンクリ○・砂利△・土×)を記入します。
- ・備考欄に災害ごとの使用の可否を記入してください。浸水、土砂災害等災害、津波浸水域等

場所・名称	駐車台数	隣接状況	トイレ	水道	排水溝	水はけ	備考欄
例1：市総合運動公園： 体育館前駐車場	約100台	○	△	○	○	○	津波浸水× 水害は○
例2：大型商業施設場 ○○モール立体駐車場	約250台	×	○	○	○	×	土砂災害× 水はけ悪い△

トイレ:○外にトイレや水道がある

△:近接する屋内避難所と共用できる

青少年センター 施設案内図 ①

排水溝



排水溝



トイレ
男性用: 小5、大2
女性用: 4
多目的トイレ: 1

施設案内図②

区画: 2.5m × 6 m
車路: 5 m



薪庫

備蓄
倉庫

排水溝

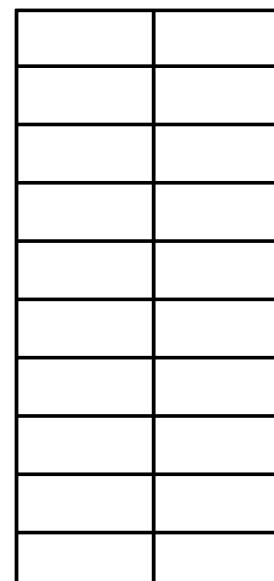
トイレ

多目的トイレ有

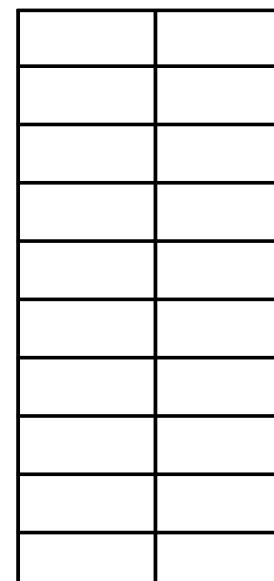
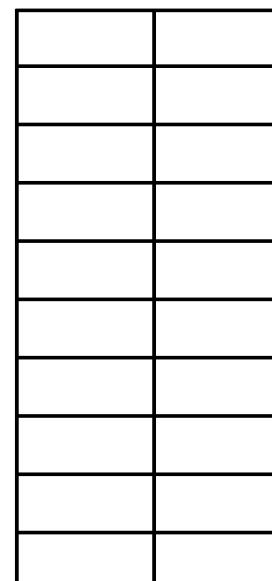
駐車場: 普通車100台

5m

(1)	(11)
(2)	(12)
(3)	(13)
(4)	(14)
(5)	(15)
(6)	(16)
(7)	(17)
(8)	(18)
(9)	(19)
(10)	(20)



青年の庭



大型バス駐車場 (9台)



ワーク 2-1 車中泊避難所エリアカード

 <p>車中避難者支援班・受付</p>	 <p>掲示板</p>		
 <p>喫煙所 火の後始末はしっかりと!</p>	 <p>給水所 排水溝とセット</p>		 <p>簡易シャワーブース</p>
<p>給電車 : 1500Wまで対応可能</p>   	<p>テント : 2張</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本部 ・休憩所 ・物資置き場 <p>2K×4K 約8坪(約25m)6本柱</p>    	<p>プレハブ 1棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本部 ・休憩所、救護所 ・その他 <p>電気を引くことで 休憩所など多目的 利用が可能</p>	<p>あつたらいいもの～自由記述～</p>
<p>あつたらいいもの～自由記述～</p>	<p>あつたらいいもの～自由記述～</p>	<p>あつたらいいもの～自由記述～</p>	<p>あつたらいいもの～自由記述～</p>

ワーク 2-2 車中泊避難希望者 状況シート

<p>・Aさん. 独身女性</p> <p>1) 世帯の状況・避難人数 ・女性(30歳)</p> <p>2) 車の種類と車中泊希望人数 ・軽乗用車(後部座席はフラットにできない) ・1人</p> <p>3) 特記事項 ・避難所(ホール)に案内され場所を割り当てられたが、隣の男性が大きいびきをかいて昼寝しており、音に敏感なので夜、眠れないと思い、車中泊希望。 ・後部座席は荷台に倒せないので運転席と助手席を使って寝ると主張している。</p> 	<p>Bさん. ペット連れ2人世帯</p> <p>1) 世帯の状況・避難人数 ・夫(28歳)、妻(30歳) ・トイプードル(室内犬)</p> <p>2) 車の種類と車中泊希望人数 ・普通車 ・2人と1匹</p> <p>3) 特記事項 ・ペット同伴のため車中泊希望。 見知らぬ人をみると吠えることがある。</p> 	<p>Cさん. 4人世帯</p> <p>1) 世帯の状況・避難人数 ・夫(50歳)、妻(48歳) ・母(75歳)、長男(17歳)</p> <p>2) 車の種類と車中泊希望人数 ・普通車 ・4人</p> <p>3) 特記事項 ・夫と長男が運転席と助手席、妻と母が後部座席をフラットにして寝ると主張 ・夫と長男は避難所に促すも車で寝ると言い張る。 ・母は夜中にトイレに2回ほどおきるので、建物の近くの駐車スペースを希望</p> 
<p>Dさん. 4人世帯</p> <p>1) 世帯の状況・避難人数 ・夫(45歳)、妻(40歳) ・長女(18歳)、長男(17歳)</p> <p>2) 車の種類と車中泊希望人数 ・普通車 ・4人</p> <p>3) 特記事項 ・夫と長男が運転席と助手席、妻と長女が後部座席をフラットにして寝ると主張。弾性ストッキングを前座席で寝る2人分を持っている ・妻の両親(両親)も車中避難しているが車が離れており再配置で隣にしてほしい</p> 	<p>Eさん. 6人世帯</p> <p>1) 世帯の状況・避難人数 ・夫(50歳)、妻(52歳)、父(72歳) ・母(69歳)、長男(27歳)、次男(18歳)</p> <p>2) 車の種類と車中泊希望人数 ・ステップワゴン ・6人</p> <p>3) 特記事項 ・テントを持参。車とテントに分かれて寝たい。 ・テント分も合わせて3台分の駐車スペースがほしい ・長男に軽度の知的障害、次男が喘息、父が糖尿病などで一般避難所は無理。車中泊と避難所に分散すると一人に負担が集中するので家族全員でいたい</p> 	<p>Fさん. 単身世帯</p> <p>1) 世帯の状況・避難人数 ・男(55歳)</p> <p>2) 車の種類と車中泊希望人数 ・軽自動車 ・1人</p> <p>3) 特記事項 ・頻尿(1時間に1回) ・夜中にトイレに何回か起きるのでトイレの近くを希望</p> 

Gさん。6人世帯

1) 世帯の状況・避難人数

- 夫（45歳）、妻（40歳）
- 長女（12歳）、長男（10歳）
- 祖父（75歳）、祖母（70歳）



2) 車の種類と車中泊希望人数

- キャンピングカー
- 6人

3) 特記事項

- 車にトイレあり
- 炊事可能
- 給水可ならシャワーもあり



Hさん。単身世帯

1) 世帯の状況・避難人数

- 男（65歳）



2) 車の種類と車中泊希望人数

- 軽トラック
- 1人

3) 特記事項

- 軽トラックの荷台にテントを張って生活すること



Iさん。3人世帯

1) 世帯の状況・避難人数

- 夫（30歳）、妻（28歳）
- 長男（0歳）



2) 車の種類と車中泊希望人数

- 普通車
- 3人

3) 特記事項

- 赤ちゃんが夜泣きがひどく、体育館だと迷惑かかるので車中泊を希望している。

Jさん。3人世帯

1) 世帯の状況・避難人数

- 夫（56歳）、妻（56歳）
- 母（86歳）



2) 車の種類と車中泊希望人数

- 普通車
- 3人

3) 特記事項

- 母が認知症で自分の車が分からなくなり、周囲の車覗きこんだり、ノックをしてくるとの苦情あり。



Kさん。2人世帯（ヤギを同伴）

1) 世帯の状況・避難人数

- 男（25歳）、女性（28歳）
- ヤギ



2) 車の種類と車中泊希望人数

- 箱バン
- 2人

3) 特記事項

- ペットのヤギを空きスペースにつないでいる。
おとなしい性格で避難者のアイドル
になっている。



Lさん。2人世帯

1) 世帯の状況・避難人数

- 夫（75歳）、妻（72歳）



2) 車の種類と車中泊希望人数

- 普通車
- 2人



3) 特記事項

- 娘夫婦（Dさん）も車中避難している。再配置で隣にしてほしい。

ワーク 3-1：車中泊避難所対応事例表

	問合せ等	時間軸 内容	対応
1	災害支援NPOから足湯支援の申し出があった。テントと場所の提供をしてほしいとのこと。	初日 提案	
2	体育館の避難所管理班とは別に車中避難支援班を別に設置してください。なお、体育館と青年センターの建物は防犯のため21時以降は夜間施錠します。	2日目 提案	
3	日中は仕事に行くが父(80歳)に居場所がない。日中休憩できるところを構えてほしい。	2日目 要望	
4	体育館のシャワーで並んでいると体育館避難者(知人)から車中泊者は使うなと言われた。使用してはいけないのか。	2日目 苦情	
5	自動車会社からキャッシングカー2台と、電源車の無料貸し出しの申し入れがあった。使途を考えてください。	2日目 提案	
6	再配置で優先配置の後は駐車番号順は受付順という意見と駐車番号ごとに抽選すべきとの意見が出ている。	2日目 提案	
7	エコノミークラス症候群対策として車中泊と体育館を3日ごとに交代してハイブリッド運用をするべきではないか。	3日目 要望	

8	車中泊駐車場は満車。体育館避難者から自分たちも車中泊に切り替えたい。車中泊の限度日数を決め入れ替え制にしてはどうかとの要望が出た。	3日目 要望	
9	エコノミークラス症候群は死亡リスクがあるため運転席・助手席は禁止し、後部座席でフラットな状態にできる人数分だけに車中泊を許可すべきだ。	3日目 要望	
10	エコノミークラス症候群対策として医療救護の巡回支援（エコー検査・問診）を要請してはどうか。	3日目 要望	
11	アウトドア仕様の人たちが、通路（車路）にテーブルやイスを出して、キャンプのように盛り上がっている。不謹慎だ。	3日目 苦情	
12	夜酒を飲んで騒いでいる人がいる。避難所と同様、飲酒禁止にするべきでは。	3日目 苦情	
13	朝定時に点呼をとって安否確認をしてはどうか。ラジオ体操もしてみては	3日目 提案	
14	隣の車が夜もエンジンをかけてうるさく排ガスが入ってくる。 夜はアイドリング禁止にするべきだ。	4日目 苦情	
15	仮設トイレが男女共用だ。女性専用のもほしい。	4日目 要望	

16	隣のペット（室内犬）の鳴き声が気になる。犬は大嫌いだ。なんとかしてくれ。	4日目 苦情 再配置後	
17	隣の車の男性がいつも車を覗くように見てきて気になる。駐車位置を変えてほしい（現在満車）。	4日目 苦情 再配置後	
18	日中家の片付けをして戻ってきたら自分の駐車スペースに別の車が駐車している。中にはいない。	4日目 苦情	
		課題 苦情 支援	以下の欄には気づいた課題・トラブル事案・必要な支援を記入 左欄に種類を記入。

※多くの問題を協議するため結論が出ない問題はスルーして次に進んでください。（1問：3分程度）

ワーク 3-2 車中泊避難者支援検討

支援項目	対応
1 エコノミークラス症候群リスク対策 ・個人への予防啓発 ・予防のための支援方法 ・朝の点呼や巡回	
2 車中泊避難受入条件 ・希望者は無条件？許可制？ ・フラットな状態を保てる人数のみ。 例：4人家族、フラットな状態の保持は2人分。残る2人が運転席と助手席で寝る場合、2人は避難所（体育館）への移動をお願いする。	
3 車中泊避難所ルール ・アイドリング ・飲酒 ・ペット（原則車中？外繋ぎ禁止？） ・夜間の会話 ・駐車位置の確保 ・その他ルール ※基本は通常の避難所ルールと同じ	

ワーク 3-3 車中泊避難者支援の感想

- 個人で感じた課題や感想を付箋に記入し貼りつけてください

ワーク 3-1：車中泊避難所対応事例表（ヒント集）

問合せ等	対応
1 災害支援 NPO から足湯支援の申し出があった。テントと場所の提供をしてほしいとのこと。	・足湯はエコノミークラス症候群対策として有効。 テント、お湯を準備すればOK。その他の支援も期待できる。
2 体育館の避難所管理班とは別に車中避難支援班を別に設置してください。なお、体育館と青年センターの建物は防犯のため 21 時以降は夜間施錠します。	・避難所は行政設置、住民運営の原則と同様に避難者の中から選ぶ。 ・自治体職員は連絡要員として 1 名配置または一日に数回の巡回を（避難所のサブ施設という位置づけ）。
3 日中は仕事に行くが父（80 歳）に居場所がない。日中休憩できるところを構えてほしい。	・日中の休憩場所を準備する。建物内、プレハブ（エアコン要）など健康面に配慮。
4 体育館のシャワーで並んでいると体育館避難者（知人）から車中泊者は使うなと言われた。使用してはいけないのか。	・シャワーだけでなくメイン（体育館等）避難所の機能や使用についてルールを決め、掲示板で周知する。 ・一般避難所と共に用するもの、使用制限するものを決め掲示板で周知。
5 自動車会社からキャンピングカー 2 台と、給電車の無料貸し出しの申し込みがあった。使途を考えてください。	・ガソリンは自治体負担 キャンピングカー：救護所、休憩所、トイレ（15 回程度） 給電車：1500W 対応。電子レンジ対応可。
6 再配置で優先配置の後は駐車番号順は受付順という意見と駐車番号ごとに抽選すべきとの意見が出ている。	・どちらか正しいというものではないので、どちらかを決める。
7 エコノミークラス症候群対策として車中泊と体育館を 3 日ごとに交代してハイブリッド運用をするべきではないか。	・ハイブリット運用は理想だが、スペースが確保できるか、避難者が受け入れるかなど運用は大変。 ・管理や運用が複雑となりトラブルも生じやすい。
8 車中泊駐車場は満車。体育館避難者から自分たちも車中泊に切り替えたい。車中泊の限度日数を決め入れ替え制にしてはどうかとの要望が出た。	・エコノミークラス症候群のリスク軽減には有効。 ・3 日間での入れ替え制などを検討。 ・管理や運用が複雑となりトラブルも生じやすい。
9 エコノミークラス症候群は死亡リスクがあるため運転席・助手席は禁止し、後部座席でフラットな状態にできる人数分だけに車中泊を許可すべきだ。	・実際に徹底するのは困難。家族は分散避難を敬遠する。 (了承しても実際は運転席・助手席で寝るなど) ・条件を厳格化すれば車中泊者は減り、キャパオーバーのリスクは軽減できる。 ・運用側はエコノミークラス症候群対策はしたことになる。

10	エコノミークラス症候群対策として医療救護の巡回支援(エコー検査・問診)を要請してはどうか。	・エコノミークラス症候群対策には下肢静脈エコー検査が有効とされる。医療・救護の巡回支援を要請。
11	アウトドア仕様の人たちが、通路(車路)にテーブルやイスを出して、キャンプのように盛り上がりっている。不謹慎だ。	・通常の避難所と同じルールを適用。 ・車路など共有部分を使用することで妨げになる場合は注意。 ・盛り上げって会話が弾んでいることが不謹慎かどうかは主観の問題(気分転換は重要)
12	夜酒を飲んで騒いでいる人がいる。避難所と同様、飲酒禁止にするべきでは。	・通常の避難所と同じルールを適用。(何事もほどほどに)
13	朝定時に点呼をとって安否確認をしてはどうか。ラジオ体操もしてみては。	・安否確認も兼ねて定時の点呼は有効。 ・ラジオ体操などエコノミークラス症候群予防を意識した取り組みを行う。
14	隣の車が夜もエンジンをかけてうるさく排ガスが入ってくる。夜はアイドリング禁止にするべきだ。	・禁止にすると健康被害が出るので困難。暑い寒いは個人差が激しく一律の運用は困難。 ・アイドリングは最低限でのお願いなどの周知まで。
15	仮設トイレが男女共用だ。女性専用のもほしい。	・女性専用スペースを設ける。 ・男女共用トイレとの場所を少し離す。
16	隣のペット(室内犬)の鳴き声が気になる。犬は大嫌いだ。なんとかしてくれ。	・苦情が出ていることは伝える。 ・通常の住環境でも起こりうる問題なので対応は困難(うるさいかどうかは主観もある)。一人からの苦情か周囲の複数からの苦情かによっても対応は違う。
17	隣の車の男性がいつも車を覗くように見てきて気になる。駐車位置を変えてほしい(現在満車)。	・ご近所トラブルと同様で間に入って対応は難しい。
18	日中家の片付けをして戻ってきたら自分の駐車スペースに別の車が駐車している。中にはいない。	・駐車位置の確保は自己責任で行ってもらう。 ・一般避難所での呼び出し、張り紙など管理者として一定の対応は必要

※両面コピー：ワーク終了後に配布

ワーク 3-2 車中泊避難者支援検討（ヒント集）

支援項目	対応
1 エコノミークラス症候群リスク対策 ・個人への予防啓発 ・予防のための支援方法 ・朝の点呼や巡回	・十分な水分補給と適度な運動についての周知（チラシ配布） ・前座席と後部座席（フラット）に分かれて寝る場合は日替わりで交代しながら寝るように周知。 ・災害支援N P Oへの支援依頼（足湯等） ・朝のラジオ体操、 ・医療班の巡回（エコー検査）を依頼
2 車中泊受入条件 ・希望者は無条件？許可制？ ・フラットな状態を保てる人数のみ。 例：4人家族、フラットな状態の保持は2人分。残る2人が運転席と助手席で寝る場合、2人は避難所（体育館）への移動をお願いする。	・事前に条件設定をしていない場合は、下記の同意を得て避難当初は全員を受け入れ。（再配置までの間に条件を決定） ①再配置を行うこと ②再配置の際、車中避難が認められない場合があること ・エコノミークラス症候群のリスクを考えるとフラットな状態を保持できる人数分に許可するのがよいが、家族は体育館と車中泊に分散避難をためらう。 ※受け入れ条件を設定する場合は事前に周知しておくかないと混乱は必至。
3 車中泊避難所ルール ・アイドリング ・飲酒 ・ペット（原則車中？外繋ぎ禁止？） ・夜間の会話 ・駐車位置の確保 ・その他ルール ※基本は通常の避難所ルールと同じ	一般避難所同様にお互い様精神が基本。 ・アイドリングは最低限のお願い（禁止をすると健康被害が出るので禁止はしない）。 ・飲酒：一般避難所と同じルールを適用 ・ペット：原則は車中飼い。外では飼い主が一緒にいること。 ・夜間の会話：一般避難所の消灯時間に合わせて車外での会話の自粛要請。（車内でも大声で話さない） ・駐車位置の確保は自己責任を周知。（外出時はものを置く）



※ワーク終了後に配布